



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2024.11 vol. 137

むつみ

当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

当院における糖尿病に対する取り組み……………1	季節行事の取り組み……………3
長崎病院通所リハビリテーション……………2	お知らせ……………4

当院における糖尿病に対する取り組み

～外来診療以外の取り組みを中心に～

内科医師 山下 真未

日本では糖尿病の方が増えていることが問題になっています。平成28年「国民健康・栄養調査」では、糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備群）はいずれも約1,000万人（合わせて約2,000万人）と推計されており、糖尿病有病者の割合は最近20年間で増加傾向にあります。

糖尿病は、眼や腎臓、心臓や脳血管など以前から関連があるといわれていた合併症のほか、最近では癌や歯周病、認知症など糖尿病以外の様々な病気とも関連するといわれています。

当院では糖尿病の外来診療以外にも糖尿病教育入院や糖尿病教室などの取り組みも行っていますので紹介します。

糖尿病教育入院

糖尿病と初めて診断された時や糖尿病のコントロールが悪化した時など、1～2週間の糖尿病教育入院を行うことがあります。

教育入院という名前の通り、糖尿病や合併症の検査や治療に加え、糖尿病についての指導も行います。興味を持たれた方は、外来主治医や医療スタッフにご相談下さい。

- ①**食事療法**：身長、体重、年齢、職業（運動量）合併症などから患者さんに合わせた病院食を提供します。栄養士からの個別指導も行います。
- ②**運動療法**：理学療法士が患者さんに合わせて運動指導を行います。運動制限のない患者さんは、食後にエルゴメーター（エアロバイク）で運動を行ってもらいます。
- ③**薬物療法**：食事療法や運動療法を行ったうえで、内服薬や注射薬の調整を行います。
- ④**血糖値や体からのインスリン分泌状況を把握します。**
 - ・血糖日内変動検査：各食前と食後、深夜（就寝中に看護師が測定）の血糖値を測定して、1日の血糖値の動きを確認します。
 - ・食事負荷試験：朝食前後に血液検査を行い、血糖値と血中インスリンの変化を見ることで食後のインスリン分泌状態を評価します。
 - ・畜尿検査：24時間尿をためて尿中の物質を測定することで、自分の体に残っているインスリンを分泌する力を確認します。

⑤**糖尿病合併症の状態を把握します**

- ・足の痺れなどの自覚症状や、下肢振動覚、アキレス腱反射などの検査により、神経障害の状態を把握します。
- ・眼科に通院されていない方は眼底検査を行い、より詳しい検査や治療が必要な場合は退院後に眼科を受診していただきます。
- ・尿検査や血液検査により腎臓の合併症を評価します。
- ・血圧脈波検査で血管年齢や足の血管の詰まりを、首の血管の超音波検査で血管壁の厚さや詰まりを評価し、動脈硬化の状態を把握します。
- ・腹部超音波検査、腫瘍マーカー、便潜血検査などで、糖尿病患者さんに多いとされる大腸がんや肝臓がん、膵がんなどのスクリーニングを行います。

⑥**糖尿病に関する教育や指導を行います**

- ・医師が合併症に関する指導や、現在の患者さんの合併症について説明します。
- ・看護師によるフットケアや日常生活指導を行います。
- ・薬剤師が糖尿病に使用する薬物について説明したり、服薬管理を行います。
- ・検査技師が検査の内容や検査結果の見方を指導します。
- ・退院後に訪問看護などと連携が必要な場合は、在宅復帰支援を行います。

健康教室

外来や教育入院などの診療以外に、糖尿病教育活動を行っています。

①**糖尿病教室**

当院ヘルスケアセンター1階にて、当院スタッフ（医師、看護師、薬剤師など）が糖尿病に関連したテーマで年3回講演を行っています。講演後は質問の時間もあります。秋には、当院スタッフが患者さんと一緒にウォーキングを行い、運動指導やコミュニケーションをはかる「歩こう会」も開催しています。

②**生活習慣病教室**

三篠公民館にて当院スタッフが講演を行います。高血圧や関節リウマチなど、糖尿病以外のテーマもあります。

糖尿病患者さんはもちろん、糖尿病のない方や予備群の方、ご家族の方も参加いただけます。詳細は院内ポスターなどでご確認ください。